



# SnapInfoディレクトリを設定します

## SnapManager for Hyper-V

NetApp  
October 04, 2023

# 目次

SnapInfoディレクトリを設定します .....	1
SnapInfo LUNをセットアップします .....	1
SnapInfoディレクトリパスを変更します .....	2

# SnapInfoディレクトリを設定します

ホスト内の仮想マシンリソースをデータセットに追加するには、そのホストにSnapInfoを設定する必要があります。Hyper-VホストをSnapManager for Hyper-Vに追加したときにSnapInfoが設定されていない場合は、あとで設定ウィザードまたは\* SnapInfo設定\*アクションを使用して設定できます。

また、Hyper-V用にSnapManagerにホストを追加したあとに、SnapInfo設定を変更することもできますただし、SnapInfo設定を変更した場合は、すべてのファイルを新しい場所に手動で移動する必要があります。SnapManager for Hyper-Vでは自動的に更新されません。ファイルを移動しないと、バックアップコピーからのリストアや管理はできず、SnapManager for Hyper-Vはバックアップコピーのリストを表示しません。

SnapManager for Hyper-V以降では、SnapInfoパスをCluster Shared Volume (CSV ; クラスタ共有ボリューム) 上に配置することも、Windows Server 2012用のSMB共有上に配置することもできます。

- 関連情報 \*

["Microsoft TechNet : 「フェールオーバークラスターでクラスターの共有ボリュームを使用する」](#)

## SnapInfo LUNをセットアップします

データセットバックアップメタデータを格納するには、Hyper-V用のSnapManagerにSnapInfo LUNを追加する必要があります。SnapInfoパスは、ONTAP LUN上に実装する必要があります。これは、SnapManager for Hyper-Vが通常のバックアップの実行後にSnapInfoコピーのバックアップを作成するためです。

必要なもの

SnapInfoパスは、Windows Server 2012クラスタを実行している場合は、Cluster Shared Volume (CSV ; クラスタ共有ボリューム) に配置できます。専用の仮想マシンを管理する場合は、SnapInfoを専用のONTAP LUNに配置する必要があります。共有仮想マシンを管理する場合は、SnapInfoを共有のONTAP LUNに実装します。

手順

1. SnapDrive for Windowsを使用して、新しい共有ディスクを作成します。
  - a. Microsoft Cluster Services Group (Microsoftクラスタサービスグループ) を選択するオプションを指定する場合は、\* Create a new cluster group. (新しいクラスタグループを作成する) を選択します
  - b. グループに「SMHV SnapInfo」という名前を付け、プロセスを完了します。
2. Windowsフェールオーバークラスタリング (WFC) を開き、新しいグループがオンラインになっていることを確認します。
3. クラスタ内の各ノードにSnapManager for Hyper-Vをインストールします。
4. \*設定ウィザードを実行し、クラスタ内のすべてのノードにSnapInfo設定を適用します。
  - a. いずれかのホストを選択します。
  - b. [ナビゲーション]ウィンドウ枠で、[メニュー : 保護[ホスト]]をクリックします。
  - c. 操作ウィンドウで、\*環境設定\*ウィザードを実行します。

- d. 新しく作成したLUNにSnapInfo設定を適用します。

## 結果

設定ウィザードを実行すると、SnapInfoの設定がクラスタ内のすべてのノードにレプリケートされます。\* 関連情報 \*

エラー：SnapDrive SDDiscoveryFileSystemListInfo応答がNULLです

# SnapInfoディレクトリパスを変更します

SnapInfoディレクトリパス設定は、設定ウィザードまたは\* SnapInfo設定\*アクションを使用して制御できます。

## このタスクについて

SnapInfoディレクトリ設定は、Hyper-VのSnapManagerのホストレベルで指定されます。SnapManager for Hyper-Vは、NAS（SMB）ホストとSANホストをサポートしています。SANホストの場合は、SnapInfo設定がボリュームレベルで適用されます。NASホストの場合は、SMB共有レベルでSnapInfo設定が適用されます。

ストレージシステムのIPアドレスをSnapDrive for Windows TPSに追加した場合は、SnapManager for Hyper-Vで設定ウィザードを実行すると、SnapDrive for Windowsのストレージ設定が自動的に読み込まれます。SnapDrive for Windows TPSが設定されていない場合は、SnapManager for Hyper-Vの[Manage Storage Connections]タブでストレージシステムのIPアドレスを指定する必要があります。

## 手順

1. ナビゲーションペインで、[Menu](メニュー)、[Hosts](ホスト保護)の順にクリックします。
2. SnapInfoディレクトリパスを変更するホストを選択します。
3. [Actions]ペインで、[\* SnapInfo settings]を選択します。

[\* SnapInfo設定\* (\* SnapInfo Settings \*) ]ダイアログボックスが開きます。

4. 表示されたオプションからストレージタイプを選択します。

オプション	説明
SAN	これがデフォルトのストレージタイプです。
NAS	このオプションは、SMB共有で使用します。

5. [\* 参照 ] をクリックします。

[フォルダの参照]ウィンドウが開きます。

6. SnapInfoストレージシステム（SAN）またはボリューム（NAS）を選択し、\* OK \*をクリックします。

表示されるホストは'ホスト・レベルで[ストレージ接続の管理]オプションを使用して登録されたストレージ・システムに対応するNAS共有です。探している共有が表示されない場合は、「ストレージ接続の管理」が正しく設定されていることを確認してください。

7. [\* SnapInfo設定\* (\* SnapInfo Settings \*) ]ウィンドウで、[OK]をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。